

定期預金を活用し 東日本大震災被災者へ 義援金を贈呈



日本赤十字社沖縄県支部へ義援金を贈呈

東日本大震災の被災者の皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興と、皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

琉球銀行では、東日本大震災で被災した地域の復興支援の一環として、2011年5月から7月までの期間、対象となる定期預金の預入総額0.1%を当行負担で寄付する取り組みを実施し、日本赤十字社沖縄県支部を通じて義援金2,000万円を被災地へお届けしました。

また、2011年3月17日より、琉球銀行の全営業店（71店舗）に募金箱を設置しており、お客さまの善意により集まった募金約590万円（2011年10月

末現在）を義援金として日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈しました。

琉球銀行では今後とも、東日本大震災により被害を受けたられた多くの方々の生活安定に向け、出来る限りの支援を継続してまいります。

《これまでの主な復興支援の取り組み》

- ・義援金500万円を贈呈（3月14日）
- ・当行役職員の街頭募金活動により集まった義援金約100万円を贈呈（3月23日）

りゅうぎんグループにて、500万円相当の救済物資を被災地へ提供（3月下旬～4月上旬）

第27回 りゅうぎんプレゼント 「ナイスハートバザールイン沖縄」開催!



琉球銀行宮城専務より特別協賛目録を贈呈



ナイスハートバザール オープニングセレモニー



ボランティアスタッフ



ボランティアスタッフの活動



楽しいステージ

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、2005年より、財団法人沖縄県セルブスターが主催する「ナイスハートバザールイン沖縄」に特別協賛しています。

2011年11月5、6日の両日、イオン南風原ショッピングセンターにて開催された第27回「ナイスハートバザールイン沖縄」では、障がい者の自立を促すことを目的に、小規模作業所や障がい者関連団体など37団体の作った木工品・小物・食品が展示即売されました。

琉球銀行は、特別協賛企業としてバザール運営費を補助したほか、バザール本番に先立ち、本店にてバザール出店団体の商品を示したロビー展を開催し、また、懸垂幕を掲示するなど宣伝活動をバックアップしました。

バザール当日には、多くの当行職員が、販売やイベントのボランティアスタッフとして運営を支援しました。

琉球銀行では今後とも、地域とともに生きる銀行として、地域社会の福祉向上に貢献してまいります。

「キジムナーフェスタ2011」へ助成金贈呈



キジムナーフェスタ2011へ贈呈

りゅうぎん国際化振興財団および琉球銀行は、「2011国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会」に助成金を贈呈しました。

この助成金は、2011年7月に開催された「キジムナーフェスタ2011」の運営費として活用されました。

参考

りゅうぎん国際化振興財団

りゅうぎん国際化振興財団は、沖縄の国際化に寄与することを目的に1988年（昭和63年）4月に設立された財団です。

これまで、「観光リゾート国際セミナー海外研修」、和英併記の「沖縄の民話」、「沖縄社会経済要覧」の発行など数多くの自主事業を展開してきたほか、内外の国際交流事業に対し広く助成しています。

「NPO法人 美ら海振興会」へ募金贈呈

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、サンゴ礁の早期再生を目的としてサンゴの植え付け活動を展開している「NPO法人 美ら海振興会」に募金を贈呈しました。

この募金は、サンゴ礁の再生事業の活動資金として活用されます。



NPO法人 美ら海振興会へ贈呈

参考

りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年（平成5年）6月に当行の創立45周年を記念して、設立した基金です。毎年、役員員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。

例えば、役員員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。

りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立から2011年11月までの助成実績は304件、1億3,866万円となりました。

「ミハウ・カロール・シマノフスキピアノ・リサイタル」の入場チケットを贈呈



沖縄県社会福祉協議会へ贈呈

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、2011年11月、障がいを持つ方や母子世帯の方に一流の音楽に触れていただく機会を提供することを目的として、国際親善交流特別演奏会「ミハウ・カロール・シマノフスキ ピアノ・リサイタル」の入場チケット100枚を沖縄県社会福祉協議会へ贈呈しました。

このチケットは、同協議会を通して、県内の福祉作業所利用者および母子世帯の方などに配布されました。



公益信託「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」8団体に459万円を助成

参考

公益信託

琉球銀行は、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に事務局として携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として1996年12月に設立され、沖縄県で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、1998年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉にかかわる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

琉球銀行は、2011年11月、第14回公益信託「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の助成先8団体に助成金を授与しました。同基金は、源河朝明氏が那覇市に寄贈された土地の売却代金を原資に、公益信託として1998年11月に設立されました。この基金は、沖縄県内において社会福祉に関わる活動を展開している法人および団体を助成し、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的とするもので、琉球銀行は事務局としてその運営に携わっています。

本年度は、障がい者向けに漫才を取り入れた法律学習会を開催する団体や、緩和医療の普及に取り組む団体、養護施設の児童をティズニールランドに招待する団体など8団体に総額459万円を助成しました。